

○図書委員おすすめの本紹介○

「うちの執事が言うことには」 高里 椎奈／著

日本が誇る名家「烏丸家」。父の思いもよらぬ行動により27代目当主となった花頼(かえい)はまだ18歳。突然のことに困惑している花頼だが、誰よりも信頼している鳳(おおとり)と仕事ができる日々を期待していた。

急いで留学先のイギリスから帰国した花頼を待っていたのは衣更月(きさらぎ)という見知らぬ青年だった。そんな二人にせまり来る数々のミステリー。二人は解決できるのか！？



★なかなか息の合わない二人に謎が解決できるのかハラハラドキドキしてしまいます★

○図書委員が選んだ記事○

【不登校の子 集える場に】 [フリースクール地球子屋]～子飼商店街で再開～

令和元年(2019年)6月4日火曜日 熊本日日新聞朝刊より。

※記事内容は、図書館前で読めます。ぜひ読みに来てください。

《記事を読んだ感想》

今の世の中、様々な理由から不登校になってしまう人がたくさんいます。そんなひとたちにとってこのような施設はひとつの居場所になっていると思いました。

川口 雄也 先生

にインタビューしました！



◎ 一番、心にもこった本を教えてください。

「ノーベル」という本です。

(ハンス・ロスリング他／著、上杉 周作／訳)

昔の自分はノーベル賞のすごさがよくわかりませんでした。
普通はその時稼いだお金はその時使うとおもっていましたが、
ノーベルのお金は100年以上たった今、ノーベル賞として
使われていることにとても歴史をかんじました。



◎ 普段、本はどのくらい読まれますか？

ここ数年、読書量がかなり減りました。

翔陽高校では、朝読書があるので読書できる時間が確保できそうで、楽しみです。

皆さんと一緒に朝の読書を楽しみます。

◎ 翔陽高校での生活はどうか？

まだまだ慣れないことがたくさんありますが、たくさんの人と合えるので幸せです。

◎ 最後に生徒に一言お願いします。

朝の読書の時間は、貴重な時間。大切にしてください。



御協力ありがとうございました！！